

ボビーの会

事務局の

様

みながさま

お世話になります。

世界中が、新型コロナウイルスの影響で健康面、経済面等々で甚大な被害の中、いかがお過ごしでしょうか。

このような状況の中ですが、「大川順一郎サポートチーム」の通信をお送りさせて頂いていただきました。

東京オリンピック・パラリンピックが一年延期となりましたし、新型コロナウイルスの終息も見えない中ですが、この夜が必ず明けるときがくるのを信じて、今できることにこつこつ取り組んでいきたいと思っています。

これから二年先、四年先も可能な限りパラ馬術を続けられるために、経費を少しでも抑える方策として心苦しい選択でしたが、自馬（自分の所有する馬）を手放すことにしました。そして、二〇一六年のリオデジャネイロのオリンピックで馬場馬術選手として出場され、現ナショナルチームのメンバーでもあり、岡山県真庭市にあります「蒜山ホースパーク」を経営されています原田喜市さんが自分のところにきてチャレンジを続けたいです。よとおっしゃってくださいだったので、わたしのパートナーであります童夢とともに四月に「蒜山ホースパーク」に移り、新しい環境のもとで、スタッフのみなさまに支えていただきながら練習を続けています。こちらは、最近二年間ほど各種競技会で訪れていたところでもありません。

現在、時間の経過とともに筋力や体幹の低下を感じていますが、パートナーの童夢の動きを邪魔しないで元氣よく伸び伸びとした演技ができるように努めているところです。

馬術に限らず、ありとあらゆる競技の大会が中止や延期となっていて、パラ馬術の競技会もいつ開催されるかわかりませんが、いつ開催されてもいいように、今はできる範囲で準備をしていきたいと思っています。

今後とも、どうかよろしく願います。

大川 順一郎

これから先はまだまだ長い道のりで焦らなむゆくりと進んでいきたいと思ふます、
どうかみながさまも、お身体をお気をつけてください。

2020 TOKYO パラリンピックへの道



大川順一郎
TOKYO パラ
サポートチーム
2020年(令和2年)5月5日
NO. 8



このレターは、2020年東京パラリンピックの出場をめざす大川順一郎選手をサポートするチームが、ご支援してくださる方々に大川選手のチャレンジの様子をお知らせするレターです。今後ともよろしくお願ひします。

オリンピック、パラリンピックが延期となった今

3月の段階で、コロナウイルスの影響により東京パラリンピック、パラリンピックの1年延期が決定しました。

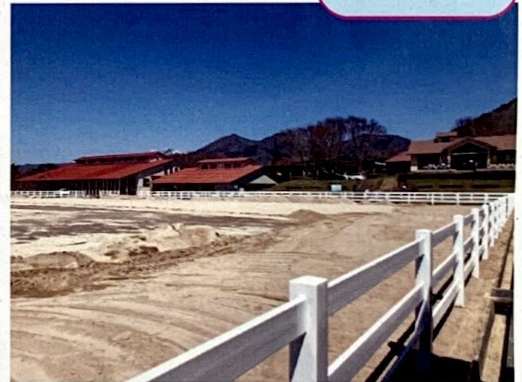
4月に予定されていました御殿場市でのパラの馬術競技会も中止となりました。大川選手は、昨年10月の段階において、パラリンピック出場の選考対象となっているCPEDI（国際競技）に出場できない状況でありましたけど、昨年11月に診断を受けた結果、新しく診断されたグレードIIというクラスで、4月は国内競技に出場して実力を試す予定でしたが、それもかないませんでした。コロナウイルスの影響で、パラ馬術に限らずありとあらゆる競技の大会が中止、延期となっています。

パラ馬術の競技会も、いつ開催されるか分からない状況ですが、大川選手の思いは4年後のパリパラリンピックに向けて気持ちが高まっているところです。

今後、少しでも長くパラ馬術を続けられるようにするためには、経済的出費を抑えるために、現在のパートナーである「童夢」を手放すことを考えないといけませんでした。

大川選手が受け入れてくれるクラブを捜している中、岡山県真庭市にある「蒜山ホースパーク」の経営者であるリオデジャネイロオリンピックのときの馬場馬術の日本代表選手である原田喜市さんに相談したところ「童夢と一緒にうちに来たらいいですよ、練習も引き続き童夢と続け、競技会も童夢で出場していったほうがいいですよ。」と言ってくださいました。そこで4月から、今までお世話になった「ポニースマイル」から「蒜山ホースパーク」に移り、チャレンジを続けることになりました。

今後は、新しい環境で、原田喜市さんのもとで次の大きな目標に向かってチャレンジを続けていきたいと思ひます。原田喜市さんは、東京オリンピックに最も近い人です。



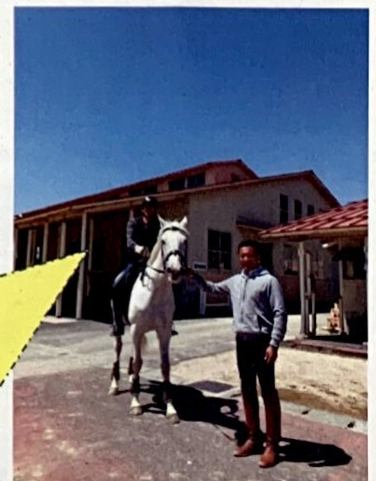
今後のチャレンジの目標

クラス グレードIIで国内ナンバー1へ
チャレンジの向こうには、世界の舞台が
2022年 世界選手権
2024年 パリパラリンピック さらなる夢へ

身体的機能と資金的環境が続く限り

封入体筋炎の患者さんの希望の星をめざし

蒜山ホースパークは、2005年開催の岡山国体のときに真庭市に造られた広大な馬術競技施設を有する乗馬施設です。充実した施設の中で、人馬ともにのびのびと練習に取り組むことができます。



パラ馬術についてのご紹介 クラス分け・アリーナの大きさ

クラス分けについて

馬術では、障がいの種類や程度により、5つのクラス（グレード）に分けて競技を行い順位を決めています。障がいの程度により競技力に差が生まれまいよう、同程度の競技能力を持った選手同士で公平に順位を競います。

馬術のクラス分け

競技中に選手が馬に指示を出す際は、主に手綱、鞭、鞍（腰の体重移動）、脚を駆使します。クラス分けでは、体幹をはじめ、選手の競技に必要な身体の残存機能を総合的に判断されます。



鞭、脚を駆使して馬を操ります。



かかとに足をつけることもあります。

下駄切跡の選手は脚や鞭で馬を操ります。

各クラスと技術レベルについて

馬術では各クラスはグレードと呼ばれ、数字が小さいほど障がいが高く、大きいほど障がいが軽いことを示しています。また各グレードによって演技に求められる歩法が異なります。

クラス	障がいの程度	技術レベル
グレードⅠ	重い	常歩
グレードⅡ		常歩 速歩
グレードⅢ	軽い	常歩 速歩
グレードⅣ		常歩 速歩 駢歩
グレードⅤ		常歩 速歩 駢歩



重度の脳性まひなどがグレードⅠにあたる。



片脚切跡の義足などが最も軽いクラスにあたる。ちなみに視覚障がいはグレードⅣ～Ⅴに。

今後、このクラスで国内トップをめざしてチャレンジをしていきます。

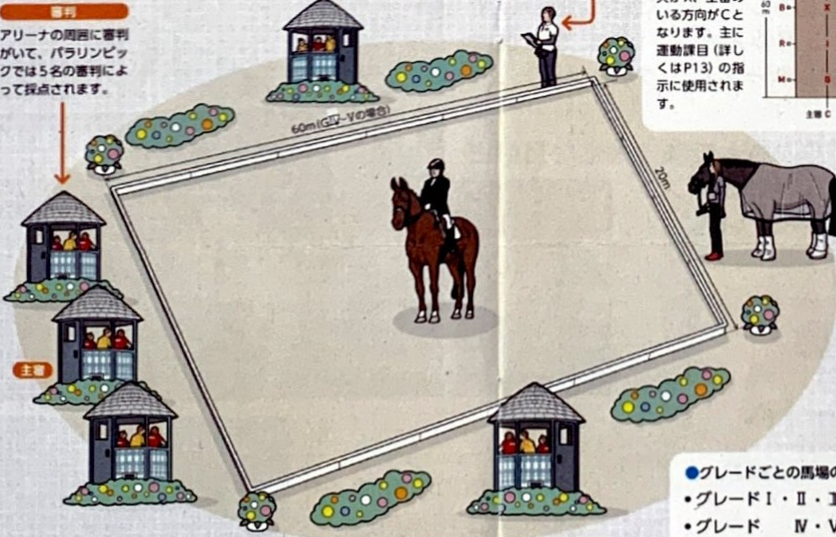
今後、この大きさのアリーナで競技をします。幅20m×長さ40mの広さです。

使用するアリーナ

選手と馬が演技を行う場所はアリーナと呼ばれていて、長方形の形をしています。またグレードごとにその大きさが変わります。

審判

アリーナの周囲に審判がいて、パラリンピックでは5名の審判によって採点されます。



今後、活動場所が「蒜山ホースパーク」になることからサポートチームの体制に変更が生じます。コーチは「原田喜市さん」蒜山ホースパークが引き受けてくださることになりました。今後は、事務担当と会計担当をどなたにお願いするかということが懸案となります。諸事情により、ホームページと寄付金振込口座も新設する必要があります。



1月13日 三木ホースランドにて